

♪ 2019年度 **poco a poco** ♪

Nr. 23 2020年2月13日(木) 文責:プファイル・辰巳

暖冬・嵐……

暖かい冬だなあ、と思っていたら、いきなり嵐。
今年のドイツの冬はどうなっているのでしょうか？ 例年、ファッシング(カーニバル)の時期には冷え込むことが多いのですが、今年はどうでしょうか？ 北海沿岸部では洪水になっているようですし、内陸部の河も増水しているようです。災害が酷くならないことを祈るのみです。



ミニコンサート、ただ今申し込み受け付け中!

締め切りは2月19日(水)です。お忘れなく!

音楽鑑賞会 感想文より

先日開催されました音楽鑑賞会の感想文からいくつか学年を追って紹介させていただきます。いろいろな気づきや感想があり、みんな一生懸命聴いてくれたんだなあと感じています。演奏家の方々も、鑑賞態度のよさをほめてくださっていました。今回は、小学部1年生から4年生までの分を掲載します。

<小学部1年生>

きょう、みんなでモーツァルトのうたをききました。バイオリンとコントラバスとヴィオラをぜんぶききました。ぜんぶきれいな音がくでした。一ばんきれいな音はバイオリンでした。えもとてもきれいでした。いろいろながっきがあつて、すごいとおもいました。ぼくもいろいろながっきを、さわってみたいです。

ぼくは、モーツァルトのまてきをききました。コントラバスが大きい音でびっくりしました。三つのがっきの音がきれいでした。コントラバスがチェロより大きくて、びっくりしました。ひくのがうまかったので、いっぱいれんしゅうしたとおもいました。

わたしは「まてき」をきいて、すごかったことと、ふしぎとおもった気持ちがあります。すごかったことは、ゆびのはやさがすごくて、びっくりしました。ふしぎだったことは、ヴァイオリンとヴィオラが、どっちがどっかわからなくなりました。そして、ひく人がやさしそうでした。

バイオリンやヴィオラやコントラバスの音がきにいました。コントラバスが大きかったです。ぼくもひいてみたいです。タミーノがまほうのふえをふくと、どうぶつがおどりだすところがおもしろかったです。

わたしがきにいった音はヴァイオリンです。きれいな音がでて、かんどうしました。大きさは、あまり大きくはありませんでしたが、大きな音がでたので、びっくりしました。ひいている人も、しんけんひいていました。またききたいです。

ぼくは、バイオリン、ビオラ、コントラバスをぜんぶあわせて見たのははじめてです。一ばんきにいったのはビオラです。ビオラはバイオリンとにているのに、どっちもいい音がでていました。コントラバスの音も、ひくくてすごかったです。

<小学部2年生>

とてもすごい音でした。かなしいときや、うれしいときがあつて、いろんなばめんがあつて、おもしろかったです。とてもおもしろかったです。自分もそのようにひけるようになりたいです。

ぼくは、はじめてだから楽しみにしていました。いろいろな音がかさなつていて、きれいでした。とくにぼくが気にいったのはヴァイオリンの高いおとでした。コントラバスはとっても大きくて、ひくい音っていうのがわかりました。

今日のバイオリンなどの3つのがっきて、あんなにいい歌ができてたので、すごいなと思いました。ぼくはぜんぜんできないけど、音楽のじゅぎょうでもちゃんとべんきょうして、いろんながっきをひけたり、歌を歌ったりしたいです。おはなしもじょうずだったです。

わたしがはじめて聞いたがっきは、ヴィオラというものです。わたしは心で(こんながっきがあるんだな。)と思いました。あだちあきひろさんがひいていたコントラバスは、思ったより大きくてびっくりしました。3人のえんそうはとてもきれいでした。また、ひいてほしいです。

<小学部 3 年生>

タミーノ王子がだいじゃに追いかけているときは、曲のテンポが速くなって、それらしいと思いました。また、お話のじょうきょうによって、音の強弱がかわったりするところが、くふうされていると思いました。

すごく音楽がたくさんあって、どれもおもしろかったり、いいえんそうだったです。とくにビオラがすごくよかったです。うしろの絵も、おもしろかったです。

すこしかわいそうな所もあったし、楽しくておもいらいところもありました。絵を見なくても、音楽だけで分かる所もありました。とてもすごい音楽かんしょう会になったと思います。なぜならみんなしずかで、音楽もすごい合そうになったからです。

音や上にある絵などがあるおかげで、心の中で(あ、ここは歌っているぶんだな。あ、ここはこう動かしているぶんだな。)と思ったりして、楽しい気持ちになった。そして物語の文を言ってもらうと、ここはこういう場面だとなんと分かったりできた。音だけでは、気持ちなど聞きとるのはむずかしいけれど、音だけでもまあ聞きとれるところもあった。

ヴァイオリンとコントラバスとヴィオラのたかい音やひくい音が、とてもきれいで、いま

まで聞いた事のない音が聞けて、とてもうれしかった。コントラバスがあんなに大きいとは知らなかったから、びっくりした。音で、今は何を表しているかが、はっきりと分かって、おもしろかった。ひくい音とたかい音のくみ合わせが、わりとよくてびっくりしました。

去年とちがってクラシックな曲が多く、物語だったので楽しかったです。また、と中でバイオリンとコントラバスが、はじくようにえんそうしていたので、(こんなひきかたあるんだ。)と思いました。そしてえんそう者 3 名の息が合っていて、きれいでした。あと、これはウィーンで聞いたことがある曲が入っていました。でも、ウィーンのコンサートの時とは、まったくちがって聞こえたのがふしぎでした。

<小学部 4 年生>

曲がきれいだった。はやくなったり、ゆっくりになったりしてたところが、おもしろかった。高くなったり、低くなったりするところが、ぞくぞくした。楽しい曲だったり、こわい曲とかもでてきたから、おもしろかった。

知っている曲があるとうれしくなりました。お話といっしょに流れたので、場面が分かりやすかったです。時々、手で弾くことがあったので、おどろきました。音の高低がはげしかたです。高低がはげしかただったので、今大変なときなのか、楽しいときなのか、よく分かりました。

お話が分かんなくても、かなしい時はくらい曲で、うれしい時はハッピーな曲でした。そして、ぼくが知っている曲(パパゲーノとパパゲーノの二重唱など)を聞くと、よけいに楽しかったです。いろいろな音がかさなって、きれいな音色でした。また、来年も聴きたいです。

その場面に合っている音楽で、絵を見なくても、なんとなくわかる音楽で、とってもおもしろかったです。音楽が、こわいシーンだと低い音で、音が大きくて、よろこびなどのシーンだと、高い音で、音が小さく、こまかい音でおもしろかったです。あと、お話で、こわい人がいい人だったと、最後にわかるのもおもしろかったです。